

「2018県展」の審査結果及び入選作品展について

県展は、兵庫県の芸術文化の振興に資することを目的に、県内に生活し、日頃から美術作品の制作活動に励んでいる方を対象とした公募展です。1962年（昭和37年）から毎年開催され、今回で56回を迎えました。

今年は、絵画、彫刻・立体、工芸、書、写真、デザインの6部門で募集し、合計529点の応募がありました。厳正な審査の結果、入選作品202点、そのうち「県展大賞」などの入賞作品49点が別添資料のとおり決定しました。

については、入選作品展（計202点）を下記のとおり開催します。

記

1 主催

兵庫県、兵庫県立美術館、神戸新聞社、公益財団法人兵庫県芸術文化協会

2 会期等

(1) 会 期：7月28日（土）～8月18日（土）

(2) 休 館 日：月曜日（7月30日、8月6日、8月13日）

(3) 開館時間：午前10時～午後6時（入場は午後5時30分まで）

最終日の8月18日（土）は午後2時で閉展（入場は午後1時30分まで）

3 会場

兵庫県立美術館王子分館 原田の森ギャラリー 2階大展示室

（神戸市灘区原田通3丁目8番30号 Tel: 078-801-1591）

4 観覧料

無料

5 添付資料

(1) 2018県展 審査結果について

(2) 2018県展 入選者・作品名リスト

(3) 2018県展 講評

(4) 2018県展 大賞等受賞作品 図版

2018県展 審査結果について

兵庫県立美術館

1 応募状況等一覧

(1) 応募及び入選作品数一覧

部門	応募点数				入選点数		左のうち入賞点数						
	本年度 応募点数	昨年度 増減数	昨年度 比率%	本年度 全体に 占める 割合(%)	本年度	%	特席	一席	二席	三席	四席	佳作	奨励賞
絵画	193	16	109.0%	36.5	72	37.3	1	1	1	1	1	4	1
彫刻・立体	14	△ 3	82.4%	2.6	6	42.9		1	1	1	1	2	
工芸	31	△ 12	72.1%	5.9	13	41.9		1	1	1	1	3	1
書	54	△ 15	78.3%	10.2	20	37.0		1	1	1	1	4	1
写真	214	3	101.4%	40.5	81	37.9		1	1	1	1	4	1
デザイン	23	△ 4	85.2%	4.3	10	43.5		1	1	1	1	2	1
計	529	△ 15	97.2%	100	202	38.2%	1	6	6	6	6	19	5

※昨年544点

特席 県展大賞 副賞50万円
一席 部門大賞(知事賞) 副賞10万円
二席 兵庫県立美術館賞 副賞7万円
三席 神戸新聞社賞 副賞記念品
四席 (財)兵庫県芸術文化協会賞 副賞記念品
佳作
奨励賞 (公財)伊藤文化財団賞 副賞5万円及び記念品
特別賞 県民賞(来場者の投票による) 副賞記念品

※特席(県展大賞)及び特別賞(県民賞)は全部門を通じて各1名、奨励賞((公財)伊藤文化財団賞)は各部門1名
※県展大賞の副賞50万円については、部門大賞の10万円を含む

(2) 年齢・男女別応募者数一覧

部門	10代		20代		30代		40代		50代		60代以上		不明		計	
	2018	2017年比	2018	2017年比	2018	2017年比	2018	2017年比	2018	2017年比	2018	2017年比	2018	2017年比	2018	2017年比
絵画	6(3)	6(3)	13(12)	1(4)	8(6)	3(5)	12(5)	3(1)	23(16)	4(3)	129(61)	-2(1)	2(0)	1(-1)	193(103)	16(16)
彫刻・立体	1(1)	1(1)	1(1)	-3(-2)	1(1)	0(1)	0(0)	0(0)	1(1)	-3(0)	10(4)	2(2)	0(0)	0(0)	14(8)	-3(2)
工芸	0(0)	0(0)	1(0)	-4(-5)	3(1)	0(0)	6(4)	-2(0)	5(2)	0(-1)	16(8)	-5(-3)	0(0)	-1(-1)	31(15)	-12(-10)
書	2(2)	-5(-2)	2(1)	-5(-5)	5(5)	-4(-2)	1(1)	-4(-4)	12(11)	-5(-6)	32(24)	8(4)	0(0)	0(0)	54(44)	-15(-15)
写真	2(2)	1(1)	1(0)	0(-1)	6(2)	4(1)	6(2)	0(2)	11(4)	2(3)	184(64)	-6(8)	4(1)	2(-1)	214(75)	3(13)
デザイン	1(1)	0(0)	2(0)	-3(-5)	3(2)	2(1)	4(3)	-1(2)	3(2)	-2(1)	9(0)	-1(0)	1(0)	1(0)	23(8)	-4(-1)
計	12(9)	3(3)	20(14)	-14(-14)	26(17)	5(6)	29(15)	-4(1)	55(36)	-4(0)	380(161)	-4(12)	7(1)	3(-3)	529(253)	-15(5)
%	2.3(1.7)		3.8(2.6)		4.9(3.2)		5.5(2.8)		10.4(6.8)		71.8(30.4)		1.3(0.2)		100(47.8)	

※()内は女性の内数

(3) 受付日別出品人数

	1日目	2日目	合計
一般	347	159	506
学生	11	12	23
計	358	171	529

(4) 地域別応募者数一覧

部門	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	その他	計
絵画	89	25	17	17	11	14	4	4	4	8	0	193
彫刻・立体	5	3	0	0	3	0	1	1	1	0	0	14
工芸	10	6	1	4	2	3	0	1	3	0	1	31
書	13	10	4	3	3	12	9	0	0	0	0	54
写真	87	18	22	15	27	12	16	1	11	5	0	214
デザイン	12	1	5	2	1	2	0	0	0	0	0	23
計	216	63	49	41	47	43	30	7	19	13	1	529
%	40.8	11.9	9.3	7.8	8.9	8.1	5.7	1.3	3.6	2.5	0.2	100

2 審査の概要

6部門、529点の応募があり、入選作品は202点。(詳細は、上記の「1 応募状況等の一覧」を参照)

特席(県展大賞)は、絵画部門、宮崎ゆかり氏の《脱水》に決定。(受賞作品は、図版を参照)

なお、各部門の入選者は、入選者リストのとおり。

3 特徴

応募者は、6部門全体で昨年度に比べて15名ほど減少した。

絵画部門が増加している一方、工芸、書部門の減少が目立った。写真部門は、近年増加傾向にある。

審査員の講評については、別添講評を参考。

絵画部門(応募点数 193 入選点数 72)

賞	題名	氏名	居住地
一席 部門大賞(知事賞)	脱水	宮崎 ゆかり	小野市
二席 兵庫県立美術館賞	WANKO!	高井 八恵子	福崎町
三席 神戸新聞社賞	骸	芝 茂雄	尼崎市
四席 (公財)兵庫県芸術文化協会	ミエナイ法則	相良 みつよ	神戸市須磨区
佳作	空	椿野 聖梨	朝来市
佳作	そしてキウイ日和	小岩 眞実子	神戸市灘区
佳作	Old picture(僕は、大島横池で、手のひらで浮遊するオレンジ色に光る小さな群像を思いかける夢を見ていた。)	桃尾 良継	神戸市西区
佳作	記憶のほとり	門脇 済美	神戸市垂水区
奨励賞 (公財)伊藤文化財団賞	Monochrome Victory of winter	藤本 隆正	西脇市
入選	遠き光	石川 公雄	加古川市
入選	浅き夢見し雨上り	川北 俊治	神戸市中央区
入選	うれしや よろこばしや	山本 竜偉	加西市
入選	ポルトの夏	小松 晶子	明石市
入選	彼方仰いで	大西 義昭	西脇市
入選	春の通り路	松井 幸子	神戸市西区
入選	二十四才	澤田 浩二	加古川市
入選	堰	奥村 誠	西宮市
入選	遊び疲れて	藤尾 清宣	明石市
入選	裸婦	内野 龍太郎	加古川市
入選	古代の刻	杉江 喆子	姫路市
入選	小さな森のオーケストラⅢ	坪内 智恵美	佐用町
入選	箱舟	山本 文昭	猪名川町
入選	私の時間	阿部 道子	姫路市
入選	森に宿る命	梅崎 秀夫	神戸市西区
入選	明歴々	五十嵐 佳容	芦屋市
入選	オリエント	福岡 幸三	神戸市長田区
入選	街角でふたり	亀井 蘭	神戸市垂水区
入選	火山と茶畑のある風景	河崎 俊也	尼崎市
入選	レ・モン	田邊 秀子	姫路市
入選	萌	家木 緑	姫路市
入選	雌伏・雄飛	玉井 里沙	明石市
入選	太古への想い	川東 雅子	西宮市
入選	秋の日に耳を澄ませば	竹澤 弘美	猪名川町
入選	明日	佐藤 二美	伊丹市
入選	厨房	千崎 勝廣	赤穂市
入選	白昼夢	塩見 秀	加西市
入選	花の誘い	横山 進直	神戸市西区
入選	うれしい遭遇	松田 圭子	神戸市須磨区
入選	継-1	杭田 恭子	神戸市西区
入選	さあさあ、たべて!	原 清	神戸市西区
入選	樹	平井 春子	神戸市西区
入選	複合細工	堀 敏文	姫路市
入選	花と女性	吉見 麻妙	尼崎市
入選	残夏	小林 素子	神戸市北区
入選	レゴンダンス(バリ島)	樋口 しげり	神戸市東灘区
入選	喫茶店	森本 愛良	神戸市東灘区
入選	古事記より赤猪子の涙	松田 朋子	豊岡市
入選	鳥の朝	大木 豊	丹波市
入選	鐵扉の語らい遊離	岩門 継雄	姫路市
入選	庭の片隅で	西本 輝子	神戸市北区
入選	交錯の刻	永田 美加	宝塚市
入選	情熱	前川 直子	篠山市
入選	奏	高橋 義美	西宮市

幻鳥
 たわむれ
 signal
 雨音が鼓膜にとどくまで
 甲八幡秋祭り
 鬼子母神
 モハ63
 黄緑色
 花と孫
 里の秋
 月面顔—17
 転位
 白い館のらせん階段
 細胞
 青風
 作品A
 記憶色Ⅱ
 雨上がる
 過ぐる日

戸田 新一郎	神戸市灘区
片寄 知	三木市
浅田 祐加	神戸市西区
田中 沙耶	神戸市灘区
萩原 弘一	姫路市
井上 浩一	猪名川町
小谷 晋	神戸市須磨区
松島 英樹	神戸市灘区
金福 和夫	神戸市長田区
村山 茂子	神戸市長田区
中村 公美	神戸市北区
小瀧 幸彦	宝塚市
川上 昇	神戸市北区
戸坂 森一	宝塚市
浅川 さちえ	神戸市東灘区
岩田 浩史	神戸市灘区
笹本 しずか	三木市
永原 清史	神戸市中央区
寺田 明	宝塚市

※名前の「喆」の「吉」は、左右とも上部が「土」

彫刻・立体部門(応募点数 14 入選点数 6)

賞	題名	氏名	住所
一席 部門大賞(知事賞)	建御雷曲	藤本 尚隆	西脇市
二席 兵庫県立美術館賞	コモリンの陽光	荻野 和彦	西脇市
三席 神戸新聞社賞	石と竹の握手・85才の挑戦	谷上 満夫	神戸市西区
四席 (公財)兵庫県芸術文化協会賞	70才立っている	兒玉 健二	神戸市兵庫区
佳作	丹生、その限りない念いをみつめて	吉良 幸弘	丹波市
佳作	遠くなる、もう遠い記憶のような	門脇 済美	神戸市垂水区
奨励賞 (公財)伊藤文化財団賞	該当なし		

工芸部門(応募点数 31 入選点数 13)

賞	題名	氏名	住所
一席 部門大賞(知事賞)	瞑想猫風	山田 典子	神戸市東灘区
二席 兵庫県立美術館賞	ガラパゴス・・・歩行するかいの産卵	田中 ひろや	丹波市
三席 神戸新聞社賞	濃淡刀3	井上 武士	姫路市
四席 (公財)兵庫県芸術文化協会賞	Spirit	石田 慎	丹波市
佳作	花紋桐箱	柳田 奈帆子	西宮市
佳作	花園回遊	坪田 隆男	姫路市
佳作	お皿	山下 宏樹	三田市
奨励賞 (公財)伊藤文化財団賞	薄れゆく記憶	平田 真弓	神戸市西区
入選	渚に立ちて	岡井 光代	西脇市
入選	木霊	高垣 裕子	新温泉町
入選	百代の過客	芦村 美代子	西宮市
入選	あわ・あわわん	山縣 礼子	神戸市西区
入選	緋陶斧	檀上 幸宏	明石市

書部門(応募点数 54 入選点数20)

賞	題名	氏名	住所
一席 部門大賞(知事賞)	白居易詩	佐藤 鳥海	尼崎市
二席 兵庫県立美術館賞	ゆふつくよ	鍵岡 美舟	西宮市
三席 神戸新聞社賞	清風	八十島 聖子	西宮市
四席 (公財)兵庫県芸術文化協会賞	秋思	池本 竹風	赤穂市
佳作	風	壺岐 翠苑	三田市
佳作	涼しき影	西川 純子	西脇市
佳作	頼襄詩	森下 素香	揖保郡太子町
佳作	薄田泣菫の詩	谷 春苑	姫路市
奨励賞 (公財)伊藤文化財団賞	春の夜の月	左山 明日香	宍粟市
入選	主張	寺本 香波	三田市
入選	希望	山本 好永	三田市
入選	月下	福島 久美子	神戸市中央区
入選	魏野詩	川島 大華	姫路市
入選	李白	上田 宏堂	神戸市垂水区
入選	山吹の花	伊藤 味佳	たつの市
入選	張華詩	吉岡 紅鸞	神戸市兵庫区
入選	はるすぎて	池永 萌南	神戸市西区
入選	いつしがも	西本 紗苑	神戸市北区
入選	おもひ	草刈 里子	西宮市
入選	聖果寺	平岡 映香	赤穂市

※名前の「えん」は「苑」ではなく「菴」←「くさかんむり」に「宛」

※名前の「ほう」は「崩」ではなく「萌」←「くさかんむり」に「月」二個(月のなかは点々)

写真部門(応募点数 214 入選点数81)

賞	題名	氏名	住所
一席 部門大賞(知事賞)	独りぼっち	栗木 芳隆	神戸市灘区
二席 兵庫県立美術館賞	生命	天宅 俊造	神戸市北区
三席 神戸新聞社賞	牡蠣家族	宮田 敏幸	西宮市
四席 (公財)兵庫県芸術文化協会賞	少年の春	山本 一郎	養父市
佳作	家路を急ぐ	吉田 清子	神戸市西区
佳作	想い出	香山 勇	明石市
佳作	生徒の居なくなった学舎	別所 孝司	姫路市
佳作	碧き人	西森 正樹	姫路市
奨励賞 (公財)伊藤文化財団賞	循環城	前川 智洋	丹波市
入選	追憶	杉本 伸英	加東市
入選	昼下りの公園	松田 正康	神戸市北区
入選	春光	大川 礼子	赤穂市
入選	舟影	高橋 喜久雄	神戸市北区
入選	記念写真	烏田 建夫	加東市
入選	五大力大護摩	林 由喜夫	三田市
入選	ープラス三猿の瞑想	増田 茂	神戸市灘区
入選	Hat・battle	永田 誠吾	洲本市
入選	都会の空間	荒岡 浩志	神戸市長田区
入選	夢幻	越智 信男	伊丹市
入選	shiny day	南出 健介	神戸市北区
入選	六甲山雪景色	定元 正樹	神戸市東灘区
入選	津軽冬景	中村 美代子	神戸市灘区
入選	深海の主 上陸	高橋 三吉	加古川市
入選	ゴーグルの男	稲崎 典子	神戸市北区
入選	閑村	馬場 和正	三田市
入選	怪魚	八代 佳子	神戸市垂水区
入選	テトラポットの住人達	薬師 鉄也	淡路市
入選	祝・ひな鳥誕生	摩耶 喜代子	神戸市東灘区
入選	歴史を語る街	藤原 雅弘	神戸市北区
入選	少子化時代	遠藤 堅衛	神戸市須磨区
入選	休車	大槻 さかゑ	丹波市
入選	夏は来ぬ	吉田 扇	神戸市灘区
入選	思い出の故郷	大原 国男	西宮市
入選	形相	小林 恭子	神戸市東灘区
入選	千倉の岩屋	谷 和代	姫路市
入選	扉の向こう側	池町 敏彦	三木市
入選	水面アート	大槻 秀男	丹波市
入選	青いか黄いか	二星 幸弘	神戸市東灘区
入選	朝陽を浴びて	清瀬 いちろう	姫路市
入選	キャッツアイ 喜怒哀楽	田中 宏	相生市
入選	初夏をたのしむ	上村 隆夫	神戸市中央区
入選	フェイク フェイク	大國 由紀子	明石市
入選	黄昏	林 明夫	三木市
入選	千姫の憂鬱	大田 直子	赤穂市
入選	深淵に潜む	竹内 晴行	西脇市
入選	白亜紀の使者	田中 利明	丹波市
入選	お散歩	東 謙介	神戸市東灘区
入選	虚実物語	荒木 郁子	神戸市北区
入選	出番待ち	神月 祥江	西脇市
入選	都会の清流 住吉川	向井 章二	神戸市灘区
入選	時	関 保道	神戸市中央区
入選	未確認宇宙物体	辻森 寿美	西宮市
入選	語らい	日高 達彦	芦屋市

赤穂市
宝塚市
丹波市
芦屋市
市川町
赤穂市
神戸市東灘区
明石市
神戸市灘区
丹波市
伊丹市
明石市
神戸市北区
宝塚市
神戸市須磨区
神戸市東灘区
たつの市
たつの市
神戸市中央区
三木市
伊丹市
姫路市
神戸市西区
神戸市垂水区
神戸市東灘区
神戸市灘区
神戸市須磨区
西宮市

※名前の「吉」は下が長い「土」

デザイン部門(応募点数 23 入選点数 10)

賞	題名	氏名	住所
一席 部門大賞(知事賞)	HYOGO150(おめでとう150)	丸山 文絵	神戸市灘区
二席 兵庫県立美術館賞	ひかりを運ぶコウノトリ達	三嶋 明宏	神戸市須磨区
三席 神戸新聞社賞	AKUTAGAWA	渋谷 健	加古川市
四席 (公財)兵庫県芸術文化協会賞	道元禅食	池川 實	西宮市
佳作	Leviathan	湯浅 和美	西脇市
佳作	怒る人怒られる人...	石田 貢	川西市
奨励賞 (公財)伊藤文化財団賞	Are you Japanese?	田村 秀和	神戸市長田区
入選	祭りーカミダノミー	池上 眞	宝塚市
入選	私たちは、「平成」を忘れない	鬼頭 幸司	神戸市北区
入選	やまのいぶきうみのかぜ	内田 勝美	神戸市北区

2018県展受賞者一覧表

賞	部門	受付番号	No.	タイトル	ふりがな	氏名	性別	年齢
一席 部門大賞(知事賞)・県展大賞	絵画	1159	絵—63	脱水	ダッスイ	宮崎 ゆかり	女	21
一席 部門大賞(知事賞)	彫刻・立体	2001	彫・立—1	建御雷曲	タケミカツチブリ	藤本 尚隆	男	65
一席 部門大賞(知事賞)	工芸	3008	工—4	瞑想猫風	メイソウビョウフ	山田 典子	女	51
一席 部門大賞(知事賞)	書	4030	書—11	白居易詩	ハクキョイシ	佐藤 鳥海	男	53
一席 部門大賞(知事賞)	写真	5091	写—33	独りぼっち	ヒトリボッチ	栗木 芳隆	男	84
一席 部門大賞(知事賞)	デザイン	6002	デ—2	HYOGO150(おめでとう150)	ヒョウゴヒャクゴジュウ	丸山 文絵	女	31

小計 6

賞	部門	受付番号	No.	タイトル	ふりがな	氏名	性別	年齢
二席 兵庫県立美術館賞	絵画	1192	絵—69	WANKO!	ワンコ!	高井 八恵子	女	54
二席 兵庫県立美術館賞	彫刻・立体	2003	彫・立—2	コモリンの陽光	コモリンノヨウコウ	荻野 和彦	男	61
二席 兵庫県立美術館賞	工芸	3018	工—7	ガラパゴス…歩行するかいの産卵	ガラパゴス…ホコウスルカイノサンラン	田中 ひろや	男	58
二席 兵庫県立美術館賞	書	4037	書—16	ゆふつくよ	ユフツクヨ	鍵岡 美舟	女	56
二席 兵庫県立美術館賞	写真	5205	写—69	生命	イノチ	天宅 俊造	男	52
二席 兵庫県立美術館賞	デザイン	6024	デ—10	ひかりを運ぶコウノトリ達	ヒカリヲハコブコウノトリタチ	三嶋 明宏	男	24

小計 6

賞	部門	受付番号	No.	タイトル	ふりがな	氏名	性別	年齢
三席 神戸新聞社賞	絵画	1008	絵—6	骸	ムクロ	芝 茂雄	男	69
三席 神戸新聞社賞	彫刻・立体	2008	彫・立—5	石と竹の握手・85才の挑戦	イシトタケノアクシュ・85サイノチョウセン	谷上 満夫	男	85
三席 神戸新聞社賞	工芸	3021	工—9	濃淡刀3	ノウタントウ3	井上 武士	男	53
三席 神戸新聞社賞	書	4039	書—17	清風	セイフウ	八十島 聖子	女	54
三席 神戸新聞社賞	写真	5018	写—10	牡蠣家族	カキカゾク	宮田 敏幸	男	71
三席 神戸新聞社賞	デザイン	6012	デ—6	AKUTAGAWA	アクタガワ	渋谷 健	男	25

小計 6

賞	部門	受付番号	No.	タイトル	ふりがな	氏名	性別	年齢
四席 公益財団法人兵庫県芸術文化協会賞	絵画	1136	絵—55	ミエナイ法則	ミエナイスウソク	相良 みつよ	女	68
四席 公益財団法人兵庫県芸術文化協会賞	彫刻・立体	2006	彫・立—4	70才立っている	ナナジュッサイタツテイル	児玉 健二	男	69
四席 公益財団法人兵庫県芸術文化協会賞	工芸	3024	工—10	Spirit	スピリット	石田 慎	男	32
四席 公益財団法人兵庫県芸術文化協会賞	書	4051	書—20	秋思	シュウシ	池本 竹風	女	56
四席 公益財団法人兵庫県芸術文化協会賞	写真	5044	写—18	少年の春	ショウネンノハル	山本 一郎	男	63
四席 公益財団法人兵庫県芸術文化協会賞	デザイン	6011	デ—5	道元禅食	ドウゲンゼンシヨク	池川 實	男	81

小計 6

賞	部門	受付番号	No.	タイトル	ふりがな	氏名	性別	年齢
佳作	絵画	1071	絵—30	空	ソラ	椿野 聖梨	女	23
佳作	絵画	1112	絵—44	そしてキウイ日和	ソシテキウイビヨリ	小岩 真実子	女	68
佳作	絵画	1135	絵—54	Old picture(僕は、大島県で、そのひらで遊遊するオレンジの島に流るかなど想像を思いかける夢を見てた。)	オールドピクチャー(僕は、大島県で、そのひらで遊遊するオレンジの島に流るかなど想像を思いかける夢を見てた。)	桃尾 良継	男	64
佳作	絵画	1152	絵—61	記憶のほとり	キオクノホトリ	門脇 済美	女	67
佳作	彫刻・立体	2004	彫・立—3	丹生、その限りない念をみつめて	丹生、ソノカギリナイオモイヲミツメテ	吉良 幸弘	男	63
佳作	彫刻・立体	2009	彫・立—6	遠くなる、もう遠い記憶のような。	トオクナル、モウトオイキオクノヨウナ。	門脇 済美	女	67
佳作	工芸	3003	工—2	花紋桐箱	カモンキリバコ	柳田 奈帆子	女	41
佳作	工芸	3020	工—8	花園回遊	ハナゾノカイユウ	坪田 隆男	男	73
佳作	工芸	3030	工—12	お皿	オサラ	山下 宏樹	男	48
佳作	書	4009	書—4	風	カゼ	壺岐 翠苑	女	53
佳作	書	4011	書—5	涼しき影	スズシキカゲ	西川 純子	女	65
佳作	書	4022	書—7	頼襄詩	ライジョウシ	森下 素香	女	63
佳作	書	4031	書—12	薄田泣菫の詩	ススキダキョウキンノシ	谷 春苑	女	39
佳作	写真	5007	写—3	家路を急ぐ	イエジライソグ	吉田 清子	女	65
佳作	写真	5036	写—16	想い出	オモイデ	香山 勇	男	72
佳作	写真	5085	写—31	生徒の居なくなった学舎	セイトノイナクナッタマナビヤ	別所 孝司	男	67
佳作	写真	5104	写—38	碧き人	アオキヒト	西森 正樹	男	61
佳作	デザイン	6001	デ—1	Leviathan	リバイアサン	湯浅 和美	女	44
佳作	デザイン	6014	デ—8	怒る人怒られる人…	オコルヒトオコラレルヒト…	石田 貢	男	67

小計 19

賞	部門	受付番号	No.	タイトル	ふりがな	氏名	性別	年齢
奨励賞 公益財団法人伊藤文化財団賞	絵画	1003	絵—2	Monochrome Victory of winter	モノクローム ヴィクトリー オブ ウィンター	藤本 隆正	男	35
奨励賞 公益財団法人伊藤文化財団賞	工芸	3031	工—13	薄れゆく記憶	ウスレユクキオク	平田 真弓	女	39
奨励賞 公益財団法人伊藤文化財団賞	書	4026	書—10	春の夜の月	ハルノヨノツキ	左山 明日香	女	18
奨励賞 公益財団法人伊藤文化財団賞	写真	5071	写—27	循環城	ジュンカンキ	前川 智洋	男	33
奨励賞 公益財団法人伊藤文化財団賞	デザイン	6016	デ—9	Are you Japanese?	アー ユー ジャパニーズ?	田村 秀和	男	34

小計 5

2018県展 講評

1 絵画部門

【総評】

しっかりとした内容の堅実な作品が多かった。技法やモチーフなどが多様で、流行に流されず自分の描きたいものを見据えた制作が行われていて、非常に見ごたえがあった。抽象が少なく、年々具象画が増えているようだ。またあったとしても昔風の抽象画が多い。みなさん楽しく自由に描かれている印象を受けた。

【県展大賞、部門大賞・知事賞】《脱水》

的確なデッサン力・描写力がある。スクエア型のキャンバスに円を据える構成や、空間をひずませた構図などは挑戦的。若い世代特有の、自分を見つめ自分なりの世界観をつくることが行われている。またそれにとどまらず、社会に向けて何かを発信しようという意図も感じられる。狭い所にとじ込められながらも、見ている人を逆に睨みつけるような表現は、拘束された世界に対する反発か。だが、それをあからさまに描いておらず、タイトルもそれにつながっているところが良い。思念を蓄積させ、大きな画面に描き続けた意志がすごい。

【兵庫県立美術館賞】《WANKO!》

しっかりしたデッサン力があり、構図も絶妙で考えて作られている。躍動感がある犬のイメージがリズム良くつながっており、ずっと見ていることができる。発色にも濁りがなく、内側から光を発しているようだが、絵具の重厚感はきちんと残っている。ペットの写真を簡単に撮れてしまう昨今にあって、あえて絵を選び、絵でしかできない表現によって犬への愛情という作者の感情が表された作品であり、見れば見るほど味わい深い。

【神戸新聞社賞】《骸》

描写や構図からストレートに訴えたいことが伝わってくる。すべてにおいて優等生的で、こうした作品が県展の評価レベルの高さを維持してくれる。どこへでも行くことのできる自転車に砂に埋もれ朽ちていく表現に、さまざまなメタファーが含まれているようだ。自由が徐々に失われてゆく感覚。

【兵庫県芸術文化協会賞】《ミエナイ法則》

素材で勝負しているところに、普段からさまざまなものを扱い、制作上の試みを重ねてきた跡が感じられる。ものの色ではなく透明色を使っていることから、一般的な技法の一步先を進んでいる感がある。非常に計算されており、重層的にものを見せてきている。ものと関わる絵画は重くなりがちだが、この作品ではそのバランスが絶妙で、軽やかで自由な表現に

なっている点は魅力的。見ていて楽しい。

【伊藤文化財団賞】《Monochrome Victory of winter》

構図はユニークだが描写はとても的確。自分の表現を見つけ出しているが、昨年度の出品作と比べて新たな発見が感じられないので、もう少し頑張ってもらいたい。フラットな視点から自分を作品にしておき、決して声高ではない寡黙な自画像になっている。

2 彫刻・立体部門

【総評】

応募数が少ないが作品のバリエーションは豊富で、それぞれオリジナルなものを出している。若い人のチャレンジを期待する。自分の足で作品を見に行つて広い視野で勉強し、作品としての完成度を高めていてもらいたい。また応募数が少ない理由として、美術や県展そのものの魅力が感じられなくなっているということがあるかもしれない。なぜやるのか、方法や方向性を考えないと、廃れていってしまうだろう。

【部門大賞・知事賞】《建御雷曲》

古びた遺跡から出てきたような印象、作品が持つ不思議な雰囲気魅かれる。部分は華奢な造りだが、全体としてバランスがよく、力強い安定感がある。また、手足の伸びが彫刻として調和しており、存在感のある作品になっている。

【兵庫県立美術館賞】《コモリンの陽光》

基本的な力量を備えた、彫刻らしい作品。軽やかに天に向かう様が表現されているが、鑑賞者の視線も自然と下から上に向かい、希望を感じさせる。台座も含めてスマートさがあり、見せ方がよく考えられている。

【神戸新聞社賞】《石と竹の握手・85才の挑戦》

政治、社会的なテーマを扱う姿勢は他の作品にないものであり、また、表現に対する執念が感じられるところも評価したい。テーマをストレートに表しているので、ひねりが加わるとより面白くなるだろう。台座の造りも丁寧だと良かった。

【兵庫県芸術文化協会賞】《70才立っている》

材質のイメージとかけ離れた造形が面白い。予め計画して制作しているはずであるが、できあがったものは不思議な形で、作者の世界観に魅かれる。薄く、上辺にこだわった作品で、視覚をうまく使っている。

【伊藤文化財団賞】

該当作品なし

3 工芸部門

【総評】

関西は工芸のレベルが高い。兵庫県は、丹波焼や播州織など有名な工芸品も多く、工芸が盛んな県である。今回は、個々が自分を表現しようとした意欲的な作品が多く、兵庫県の工芸のレベルの高さが伺えた。ただ、出品数が減っているのは残念。全体の比率から考えると比較的若い人の出品数が多かったが、来年はもっと多くの方に挑戦してほしい。

【部門大賞・知事賞】《瞑想猫風》

染まっていない部分（白）を活かした大変大胆な構図である。真ん中を白く残すことは勇気がいるが、気負いなく仕上げている。ロウ染めの重なり部分のぼかしが上手で、普通はむらになるところもきれいに仕上げられており、技術力が高い。左右の模様を中央で合致させるのも難しいところ。染料も独特でデッサン力もある。一見わかり辛いが、見ているうちに猫のかたちが浮かび上がってくる、鑑賞者に語りかけるような作品である。身近なモチーフを愛情をもってよく捉え、高い技術力により作品に仕上げている点が知事賞にふさわしい。

【兵庫県立美術館賞】《ガラパゴス・・・歩行するかいの産卵》

造形のアイデアが面白い。下の黒い木の台と上に置かれた焼き物のかたちがガラパゴスを想像させる。釉薬の調合、濃度も計算されており、ひずみなく焼かれており、高い技術力がある。モチーフのアイデアは斬新で現代的である。中を覗き込むと卵が見えるところも鑑賞者に見る楽しみを与え、ストーリー性を高めている。また、「かい」をひらがなにしたことにより、「貝」「開」などさまざまな意味を想起させ、作品を見るだけではわからない部分も、このタイトルにより想像が膨らみ、多様な見方ができる。

【神戸新聞社賞】《濃淡刀 3》

磁土をひずますことなくまっすぐに焼き上げることは大変難しい。焼いた後、すぐに表面を削って磨くという、非常に細かい作業を経ている。陶土より硬質な磁土を用いることで、刀の鋭さを表現している。きりっとした印象を与える軽やかなデザイン性を持ち、「刀」というモチーフは現在の流行にも乗っており、センスの良さが光る現代的な作品である。

【兵庫県芸術文化協会賞】《Spirit》

3つのパーツに分かれているが、それぞれがきちんと組み上げられるように作られており、高度な技術を伺わせる力作である。自分の表現したいことが詰め込まれ、ぶつけられているような勢いと力強さを感じる。骸骨や刀は流行のモチーフであり、ゲームの世界をも想起させる。ヴィジュアルからくる格好良さがあり、刀（角）の部分は造形的にも美しい。色のバランスも良く、作者の高い集中力を感じさせる。

【伊藤文化財団賞】《薄れゆく記憶》

型染めの技術力の高さを感じる作品である。見たままの風景を表現するのではなく、技法に即して形体を抽象化し、色を抑え全体のバランスをとっている。自分の記憶の蓄積を、一枚にまとめて表現することは現在の流行りでもあるが、その技法とモチーフとの摺り合わせに作者の努力を感じる。粗削りだが、型染めという伝統的な技法に挑戦していることは素晴らしい。今後に期待したい。

4 書部門

【総評】

バラエティに富んだ作品が多く集まった。漢字、かな、前衛といった各ジャンルの表現の違いが良く見られ、われわれの眼を存分に楽しませてくれた。惜しむらくは篆刻の作品がなかったこと。次年度以降に期待したい。

【部門大賞・知事賞】《白居易詩》

漢字。中国の明清時代の書風を思わせる。行と行の間の文字の絡みがすばらしい。文字の大小や長短がうまく表現され、また作品全体の立体感もよく表されており、全体の印象が良くなっている。白居易の詩情がよく感じられる。

【兵庫県立美術館賞】《ゆふつくよ》

かな。行の流れの美しさが良く出ている。漢字と異なり、一字一字の造形がなされない分、墨の濃淡で立体感を表すが、それが非常に成功している。余白との調和も良く出ている。

【神戸新聞社賞】《清風》

前衛。黒白のコントラストが良い。非文学性で造形的だ。上部の飛沫が効果的で、その上部が充実することで、リズムカルに明るく現代的な仕上がりとなっている。

【兵庫県芸術文化協会賞】《秋思》

漢字。中国の周の時代の金文による七言絶句からとっている。線が重厚さとともに温かみをも兼ね、充実した表現となっている。

【伊藤文化財団賞】《春の夜の月》

かな。やはり黒白の対比が明るさをもたらしている。地の白さをきれいに見せ、空間性を表現している。行に左右の傾斜をうまく利用し、しかも滞りなく流れが生まれている。

5 写真部門

【総評】

全体に、もとの画像の良さが良く出ている。しっかりとした観察に基づき、画面の隅々にまで神経が行き届いている。また昨年に比べ、組作品のバリエーションが増え、質が向上している。出品作はプリントサイズの小さいものが多く、大きければ良いというものではないが、来年以降は表現のスケール感、作品の見せ方の技術についても考えてもらえたらと思う。

【部門大賞・知事賞】《独りぼっち》

簡潔で精緻な構図で、人の足を止める力がある。一瞬のチャンスを逃さず、ファインダーの中で構図を決めていると思われ、経験値の高さを感じさせる。写真としての見やすさに加え、社会的な問題意識も含まれている。その内容は、群を抜いている。

【兵庫県立美術館賞】《生命》(いのち)

フィルムの粒子に近い加工を施し、新芽と朝日の絵画的美しさが際立つ。イメージと知性のあるクリエイティブな表現で、展示物としての大きさ、そのサイズ感やフレームともよく合っている。

【神戸新聞社賞】《牡蠣家族》

ドキュメンタリー的視点で写真を撮っているのは珍しい。取材能力の高さ、コミュニケーションの賜物である。ある程度状況が分かるようなものを写し、産業構造までも感じさせる。

【兵庫県芸術文化協会賞】《少年の春》

近くから遠くまでピントが合っているパンフォーカスで、技術・画面構成力が見事。色彩もきれいで、桜を前景に配した日本のかつ絵画的な構図でもある。

【伊藤文化財団賞】《循環城》

望遠レンズを用いた作品。即物的で、被写体自体も珍しいものではないが、縦の線の構成がうまく、事前に撮影場所を吟味したことによる、しっかりした構図になっている。

6 デザイン部門

【総評】

デザインと言いながらも、クラフトあるいはイラスト風の作品が多く、グラフィックデザインはわずかで、プロダクトデザインも見られなかった。手間をかけている作品が多いが、全体的にオリジナリティのあるものは少なかった。公募展でのデザイン部門の出品数の少なさは全国的にみられる風潮。今回はテーマを設けたことにより、作品にもこれまでより強いテーマ性が見られた。今後もテーマを設けることは有効であろう。しかし、対象となる領域が広いにも関わらず、絵画に近い作品が多いところから、部門の在り方について見直す必要がある。

【部門大賞・知事賞】《HYOGO150（おめでとう 150）》

高い技術力があり、デザインというジャンルを明確に示す作品でもある。全体としてよくまとまっており、全作品の中で最も印象が強かった。人物の特徴を表すほくろが印象的であるが、伊藤博文に兵庫のイメージを託すのはもったいないようにも感じる。上下の文字の円形部分にある水平線は、日本海と太平洋に挟まれた兵庫県を思わせ、赤い円はその水平線に上る太陽のようである。文字に関しては少し処理が甘く改善の余地がある。

【兵庫県立美術館賞】《ひかりを運ぶコウノトリ達》

技術的には1席とほぼ同等の力がある作品。色彩のまとまりが見事で、センスが良い。シャガールのようなものであるが、より現代的である。コウノトリが羽を広げて兵庫を包み込んでいるイメージや兵庫の名所など、さまざまなイメージをちりばめているが、文字の部分ともども、アピールが弱く、文字に関してはよりデザイン的に強調するなど、それぞれの表現を強化すれば更に良くなるだろう。

【神戸新聞社賞】《AKUTAGAWA》

オリジナリティはそれほど感じられないが、絵画的な表現技術の高さを評価した。写真をもとに、人物の全体の印象をデザインに起こしている。絵画とデザインは異なるので、このデザインで何を語るのかという明確なアピールが求められる。紙のエッジ部分を白く残すなどのこだわりの「描く」作業についての信頼感を感じられ、絵画部門の出品もあり得と思わせる作品である。

【兵庫県芸術文化協会賞】《道元禅食》

一見したところわかりにくいだが、色面分割により漢字を表現している。タイトルから道元の食に関する漢文を引用していると考えられる。大変チャレンジングでありオリジナリティが高い作品。文字の形体と相まって色彩が重すぎるが、この色使いには食に関する意味合

いがあるように思われる。コンセプトは興味深いが、もっと見ている人に伝わるような工夫が求められる。

【伊藤文化財団賞】《Are you Japanese?》

イラストレーションとしての表現力が高い。一見、日本の古典的なイメージを表現したよくあるスタイルの作品のように見えるが、タイトルから「日本」についての問いかけが込められているメッセージ性の強い作品であることがわかる。風刺画的に、ステレオタイプの日本を茶化しつつ、伝統文化への疑問や、日本のイメージと現代の日本人の実情を表現している。今後、批判的な目を更に研ぎ澄ませてほしい。

2018県展 特席 県展大賞 受賞作品



宮崎 ゆかり 《脱水》

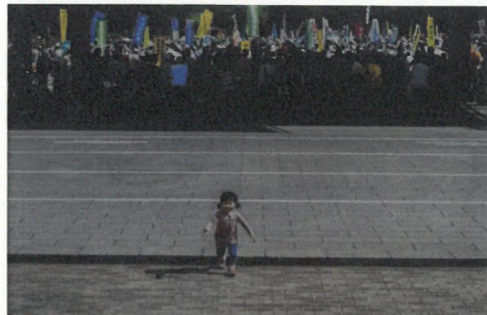
2018県展 一席 部門大賞（知事賞） 受賞作品

【絵画部門】



宮崎 ゆかり 《脱水》

【写真部門】



栗木 芳隆 《独りぼっち》

【工芸部門】



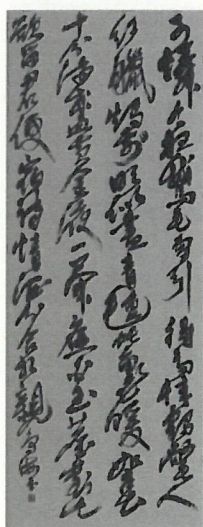
山田 典子
《瞑想猫風》

【彫刻・立体部門】



藤本 尚隆
《建御雷曲》

【書部門】



佐藤 鳥海
《白居易詩》

【デザイン部門】



丸山 文絵
《HYOGO150 (おめでとう 150)》